

～ハノイの食事は美味～

ハロン湾とハノイ市街

ティエン・クン鍾乳洞も観光

ホーなどのハノイ固有の料理と、フランス植民地時代の影響でバゲットが美味なのに驚きました。定番のハロン湾クルーズでは、穏やかな海と島影が織り成す風景、20年前に発見された鍾乳洞には大満足でした。

ハノイの旧市街の喧騒には、いまさらながらの驚きでした。その街中では、現地の人々の御用達のお店で、バゲットでのサンドイッチを注文しました。ソーセージ、パテなど詰めこんであり、味がよく、その上ボリューム感もありありでした。

定番の水上人形劇も見ました。1日5回も公演があり、いまや大人気の活況です。我々は夕方の公演でしたが、欧米系の観光客が多いのが目につきました。

女性陣は、バッグ、スカーフなどのお店でショッピングを大いに楽しんだようです。事前に、ネットでお目当ての店を絞り込み、現地ガイドに案内してもらい、しこたま、お買いあげのようです。

フランス植民地時代、冷戦下の南北の悲惨な戦争、そして活力を發揮しつつある現在と、歴史を目の当たりにしました。



浅見さん作成
現地通貨換算表

タクシーは、数百円程度の支払いで可能です。歩行中での交通事故、盗難などの危険を考えると、利用価値が高い移動手段と思えました。奇妙に思えるのは、ドル建ての表示が多かったことです。自国の通貨ドン、日用品の買い物、大物はドル、こんな印象を受けました。

日時：2016年11月12日（土）～15日（火）

事前支払：113,900円（株）Jトラベルに支払い

内訳 ANA 航空機往復、3泊4日ホテル代、現地ガイド料、リムジン代、ハロン湾クルーズ、観光場所入場料金、朝食3回、昼食2回、夕食1回 他

現地払食事：夕食2回4,500円、少量の飲み物代含む

内訳 地元の大きな居酒屋さん1,000円

観光客メインの仏コース料理、3,500円

いずれもビール1杯を含んだ金額

参加者：総勢9名

補足：現地での追加出費は、食事、土産などを入れて1万円以内でした。物価が安く、感謝です。

工程 第1日目 出発：羽田国際線 ANA 午前便、ハノイ空港直行、到着後ホテル直行、夕食 現地居酒屋（現地ガイドさんおすすめ）

第2日目 ハロン湾クルーズ3時間、船上での海鮮料理、途中下船しての鍾乳洞観光、夕食フランス風コース料理（観光客相手だが、コロニアル風のこじやれた風情）

第3日目 ハノイ市内観光（西湖、文廟、ホーチミン廟、一柱寺、玉山祠、ホアン・キエム湖など）
午後自由時間＝女性陣は買い物
夕刻水上人形劇

第4日目 午前自由時間 午後ハノイ空港へ移動 ANA 午後便 帰着 羽田国際線ターミナル

グルメ写真 観光地の風景写真は、よくご存じですので、美味なる料理の紹介です。



鳥の澄ましスープが
抜群のホー



クルーズ船 海鮮料理
定番の揚げ春巻き



クルーズ船
追加注文
シヤコ、ハマグリ

フランス風コース料理

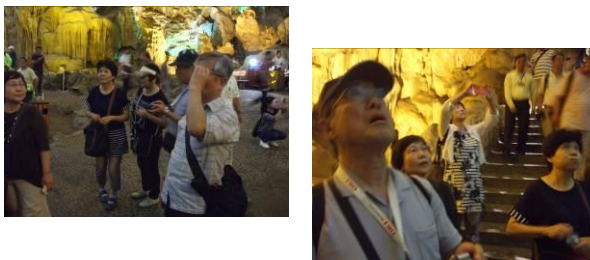


ハノイ料理



スナップ写真

ティエン・クン鍾乳洞 大きさに一同アングリ



ハロン湾

おなじみの、のどかな風景。



市内名物

原則2人乗りバイク、その洪水。



街角の昼食売り
ホーと豆腐を辛みそにつ
け食していた。



ジュース売り マンゴ
ージュースがうまかった。

市内の空中線ケーブル

すごい込み合い
これでよくつながるなあ～



物売り 天秤棒の前後に売り物あり。



サンドイッチ

バゲットに具
がいっぱい!



ハノイ市内

ガイドさんの案内で市内
を徒歩で、喧噪観光です。



農村の風景 空港の往復時、車内からコメ栽培がで
きる肥沃地帯を見た。

牛に一本鋤を引かせて土
を起こす風景も見た。よ
き農村の風情。



信仰の対象

室内の片隅にあり、神棚に相当す
るようだ。

参加感想文

村上有三

今回は、人数が少ないことと WSC 単独のツアー催行でしたので、ツアー中に独自の旅程を盛り込みました。ハノイ観光時の参加者の希望のお店の立ち寄りや、旧市街の散歩と昼食のサンドイッチの提供、旧市街のカフェでのベトナムコーヒーの試飲などです。

また、食事が 2 回フリーでしたので、現地のベトナム料理とフランス料理を手配し、どちらも満足できるものでした。ベトナムはタイの隣の国ですが、歴史、文化、食事が全く違うのに驚きます。特に食事は、タイと比べ辛くなく、改めて日本人に合うと思いました。

今回特に強く実感したのが、ベトナム人の力強さです。町全体でエネルギーを感じました。高度成長前の日本を見ているようで、この国が今後どう発展していくか期待が持てました。

やはり海外を見ることは、自分の概念を広げることとなり、大事だと実感したベトナムでした。

本杉純子

久しぶりの海外旅行でした。機内のテレビで「君の名は」涙そうそうを見て、あっという間にハノイでした。

ハロン湾に向かう小型バスの運ちゃん、クラクションを鳴らさず、まるでカーチェイスのような運転でした。短い旅でしたので、きちんとした旅行保険に入っておらず、若干後悔したものです。

ベトナムは土産物がないよと聞いていましたが、事前に調べた「CRAFT LINK」という店に寄りました。ここは、手工芸品生産者を援助する NPO の店で、受け継がれた少数民族の伝統品に溢れていました。見るだけでも癒される楽しい店でした。

今回の少人数での愉快的な旅は、いつまでも記憶に残りそうです。

星 俊臣・文子

今回のツアーは 9 名と少人数で、村上様の「かゆいところに手が届く」ご配慮で大変楽しく、安心して旅行ができました。村上様のご同道に、心からお礼を申し上げます。以下、皆様とは違った目線での感想を記します。

ベトナムはフランスの植民地だったこともあり、その名残も公共の施設には多く見られたものの、観光地の遺跡、雰囲気は中国の影響をかなり強く受けているように感じました。日常の生活ではこれらが混沌とし

て見事に交わり、新たなベトナム文化を作り上げているように思われます。

私は、東南アジアではかなり欧米化された韓国、香港、マレーシアぐらいしか訪れたこともなく、いかにもアジアらしい町的生活やたまたまに新鮮味を覚えました。特に食べ物では、見た目「大丈夫か？」と思われるようなお店で、無造作に具を詰め込んだサンドイッチとかホットドッグは、食べる時にはまわり一帯がパンくずだらけになりました。が、意外においしく、これは日本でも流行っているとか。ホテルのパンもおいしかったし、やはりフランスの名残もあるなど感じたものです。

今回訪れたハノイは、ベトナム戦争の中心地だったと思いますが、案外歴史旧跡はそのまま残っていたように思います。米国が唯一敗戦した国の割には、その配慮があったのかと思うぐらいでした。一方で建国の父ホーチミンは、その廟も広大かつ立派で、市民からも慕われ尊厳を神の如く心に植えつけられているようで、清廉潔白で偉大な指導者だったと感じました。ところが現在、当社の駐在員や仕事で行った後輩の話を聞くに、官庁や高級職に属する現地の人達は過去の清廉潔白さは薄れ、賄賂、心付けなどがはびこり、ベトナム人の良さが消えつつあるといえます。

ほんとうに世界の人達から尊敬される民族、風習を末永く維持していきたいものと思います。

浅見司郎・恵子

「お母さん、ベトナム旅行に行く？」

「うん、行く行く」から始まった旅行でした。

私たちは、WSC の皆さんと違って、海外旅行はまれなイベントです。今回の旅行では、いろいろと楽しい企画が多くありました。

一つ目は、ハロン湾のクルーズのすばらしさ、そしてその途中に寄ったティエン・クン鍾乳洞のスケールの大きさ、これに圧倒されました。内部はライトアップされ、いろいろな事物、例えば恐竜、布袋さまなどが幻想的に浮かんでいました。さてと、日本の鍾乳洞とのちがいは何か？そう“水”でした。ここの鍾乳洞には、ほとんど水が流れていません。かたや、日本の鍾乳洞では水が流れ、水との競演といえます。

二つ目は、旧市街の散歩と、昼食のサンドイッチでした。バケットに挟んである生野菜に少々躊躇しましたが、これを逃すと昼抜きになりますので、勇気を奮って食べたなら、これがとても旨いこと美味しいこと。

思い出に残ることが多々ある旅でした。村上さん、皆さんありがとうございました。